

岐阜大学における 産業動物臨床実習の概要

岐阜大学 産業動物臨床学分野
大場恵典

実習教員数

産業動物臨床学分野	1名	}	実習、一般診療
獣医臨床繁殖学分野	2名		

実習室設備

- ・ 固定木製柵場 1
- ・ 移動式柵場 2
- ・ 削蹄用柵場 1
- ・ 体重計 1



実習動物

- ・ 牛 ホルスタイン種 (3頭 + 15頭*)
 黒毛和種 (5頭 + 40頭*)
- ・ 馬 ポニー種 (5頭) *:付属農場動物



実習科目

必須(各1単位)

・ 獣医学導入演習	1年	}	導入実習
・ 牧場実習	3年		
・ 獣医内科学実習	4年	}	基盤実習
・ 獣医臨床繁殖学実習	4年		
・ 応用実習	5年	}	参加型実習
・ 総合臨床実習	5年		

導入実習

- ・ **獣医導入演習** (1年前学期)

基礎、応用、臨床獣医学それぞれの分野が扱う仕事を学ぶ
産業動物臨床では牛や馬を使って聴診、触診、直検など
以後の勉強にモチベーションを持たせる

- ・ **牧場実習** (3年前学期、付属農場)

肉用牛の繁殖・肥育の一貫形態の付属農場での宿泊実習
および乳用牛で搾乳実習
生産現場における全般的な管理方法・経営形態を学ぶ



基盤実習

- 獣医内科学実習（4年前期・後期）
- 獣医臨床繁殖学実習（5年前期・後期）

産業動物臨床を実践するために必要な論理的アプローチ手法と基本的手技を学ぶ

牛および馬の保定と扱い、栄養状況の判定、採血、採尿、胃汁採取、麻酔法、去勢術、第四胃変位整復術、跛行診断、削蹄、断角、直腸検査、卵巢の超音波断層診断查、人工授精、子宮洗浄、馬における直腸検査と子宮洗浄、受精卵の回収および観察、妊娠子宮の観察と妊娠診断など



参加型実習

- ・ **応用実習** (5年後期)

インターンシップ実習

様々な獣医師の職場において2週間の体験実習

NOSAI、中央畜産協会、小動物臨床、動物園など

- ・ **総合臨床実習** (5年後期)

動物病院で、小動物、産業動物臨床の現場を体験する

学生を近隣の酪農家の診療に随行させ、臨床現場での

飼主との対応、診断の進め方、検査手技、治療方針などを

実際の症例を通じて、獣医師に必要な知識や手技を学ぶ



コア・カリキュラム、共同学科に向けて

- 大動物実習室の改修
- 診療台の導入
- 動物数を増やす
- 一般診療エリアの拡大

設備の充実

教育効果の向上



参加型実習

